

2026/05/22

2026 年度 DRP 検討委員会 第 1 回会合
資料 1

2026 年度 DRP 検討委員会活動方針検討課題リスト

2025 年度 DRP 検討委員会からの継続案件および 2026 年度における新たな検討課題を確認する。

1. JP-DRP 手続規則改正後の運用状況確認
2026 年度施行の手続規則改正について、実際の運用状況を確認し、利用者および紛争処理機関における課題・不都合の有無を把握し、必要に応じて追加的な運用改善や見直しの要否について検討を行う。
2. JP-DRP 裁定例データベース・検索システムの運用および改善
裁定例データベース・検索システムについて、継続的な運用および裁定データの更新を行う。あわせて、タグ付け方針の整理、運用体制のあり方、検索性および実務利用性の向上に向けた改善事項について検討を行う。
3. JP-DRP にかかる実務知見の共有
JP-DRP の制度理解および実務上の参考となる知見の蓄積・共有を図るため、過年度の成果（DRP 解説改訂・裁定例整理・シンポジウム資料等）も活用した今後の制度運用に資する情報発信のあり方について検討する。
4. パネリスト候補者研修会の実施方針
パネリスト候補者研修会について、実施回数、内容、講師、日程等の方針を整理する。あわせて、JP-DRP の安定的な運用を支える専門性を中長期的に確保する観点から、研修会への参加者の裾野拡大、新規人材の巻き込み、パネリスト候補者の育成・継続的な関与のあり方について検討する。制度理解および実務能力の向上に資する内容となるよう、研修内容の充実について継続的に検討を行う。
5. 国際動向および他制度の把握
UDRP 等の国際的動向、ならびに WIPO、ADNDRC 等の紛争処理機関における運用状況について、継続的に情報収集・整理を行う。指定紛争処理機関の複数化、JP-DRP の多言語化等の長期的課題についても、必要に応じて JP-DRP への影響を検討する。
6. その他の課題について
上記のほか、JP-DRP の安定的運用および有用性向上に資する事項について、必要に応じて検討を行う。

以上